

東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査*実施状況

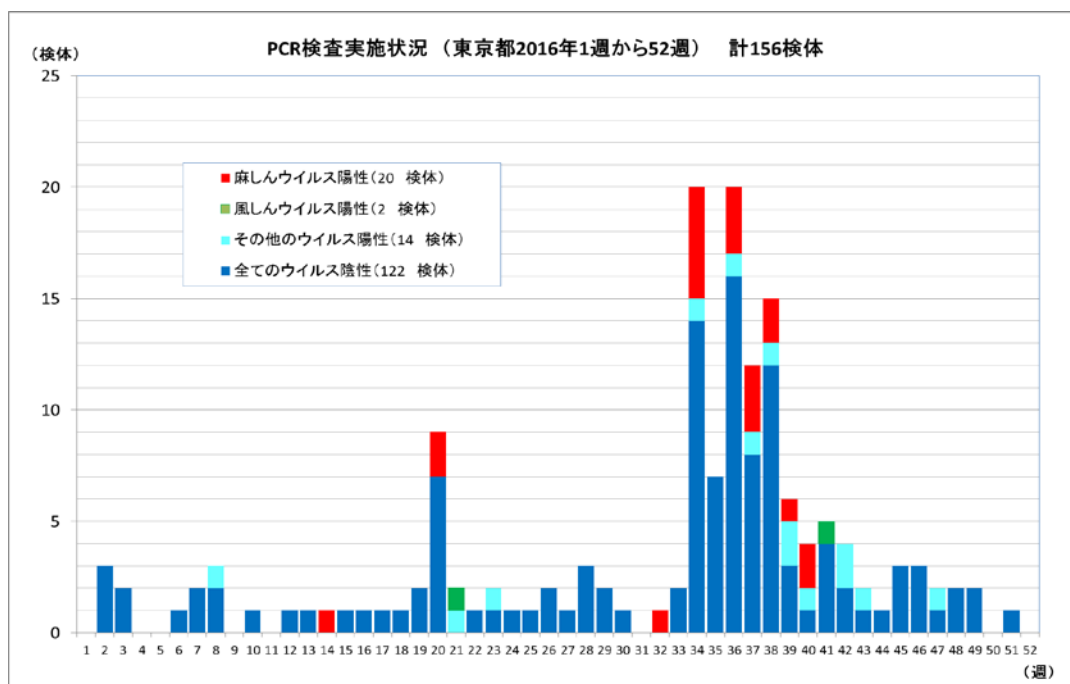
(2016年第1週から52週)

東京都健康安全研究センター

東京都では麻しんと診断された患者で協力が得られた場合、当センターに検体を搬入し、麻しんウイルスPCR検査を実施している。陰性だった場合は、風しん及びパルボウイルスB19型のPCR検査を実施し、2歳以下では更にヒトヘルペスウイルス6・7型のPCR検査も実施することとしている。

2016年第1週から52週までで、麻しんと診断された患者145人156検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。結果は、麻しんウイルス陽性が20検体、風しんウイルス陽性が2検体、その他のウイルス陽性（パルボウイルスB19型及びヒトヘルペスウイルス6・7型）が14検体、陰性が122検体だった。

※PCR検査とは、疑っている病気（ウイルス）の遺伝子を特別な装置を使って目で確認できるように増やし確認する検査方法。増えていけば「陽性」と判断される。



注：2検体は重複感染（風しんとヒトヘルペス6型及びヒトヘルペス6型と7型）

<遺伝子型>

麻しんウイルス（20検体）

D8型：16検体 H1型：3検体 ワクチン型：1検体

その他のウイルス（14検体）

ヒトヘルペス6型：9検体

ヒトヘルペス7型：2検体

パルボウイルスB19型：3検体

※風しんウイルスは未実施